

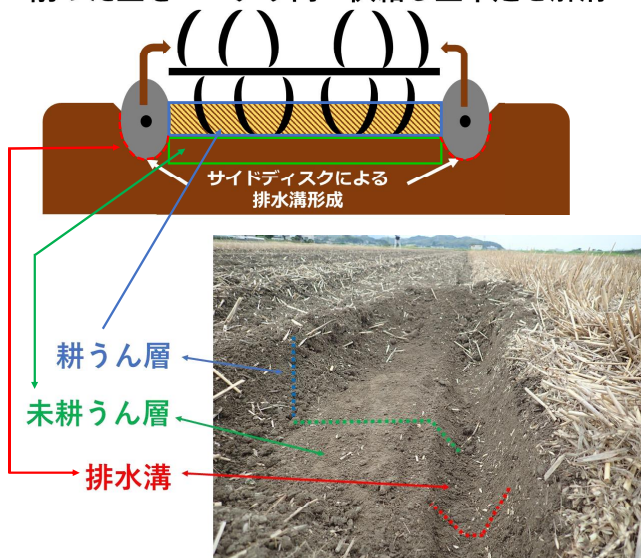
大豆の安定生産と高能率作業を両立する播種技術 ～ ディスク式高速一工程播種法 ～

我が国における大豆栽培では梅雨の影響を受けやすく、湿害により収量が不安定となっています。また、農業従事者の減少や高齢化による担い手への農地集積により、一経営体大豆の作付け規模が拡大しています。

そこで、農研機構では、逆転ロータリ前方に大型のサイドディスクを取り付けるシンプルな構造で、湿害回避と高能率作業を両立する新たな播種方法を開発しました。本播種法により大豆の安定生産と播種作業の省力高速化による生産規模拡大に貢献します。



- ・逆転ロータリは浅耕
- ・削った土をロータリ内へ供給し土不足を解消



播種法の特徴

- ◎ **排水溝形成**による湿害回避
- ◎ 麦後に大豆を**一工程**で播種可能
- ◎ **浅耕播種**により高速播種が可能 (3.0km/h程度)

生育初期に1000mmの豪雨に遭遇

